

スレート屋根 (コロニアル・カラーベスト) 編 簡単チェックポイント



Check! ① 棟板金を固定している釘が緩んでいる 棟板金が浮いている

スレート屋根の頂上にあたるのが棟板金です。
この棟板金は釘によって固定されていますが、強風などで緩んでしまうことがあります。そうすると棟板金が浮きあがってしまい、さらには強風で飛ばされてしまうこともあります。釘が緩んでいないか、浮きあがりがないかをチェックしましょう。



Check! ② 棟板金が色褪せている・錆びている

棟板金は金属なので、塗装によって錆を抑えています。もし棟板金が色褪せているのであれば、それは塗装が劣化しているサイン。放置してしまうと、棟板金が錆びてしまいます。棟板金が錆びることで屋根の劣化が早まりますし、錆が外壁などに付着することで、外観が悪くなってしまいます。



Check! ③ 屋根材が欠けている・割れている

強風時の飛来物によって、スレート材が割れてしまうことがあります。スレート屋根は、多少欠けたとしても影響がない場合もあります。しかし雨漏りなどを引き起こす可能性もゼロではないため、自己判断は危険です。



Check! ④ 屋根の表面が色褪せている

スレート屋根は表面が塗装されています。もし屋根が色褪せているようであれば、塗装が傷んでいるということです。
他のサインと比べて急を要するものではありませんが、近いうちに塗装することをおすすめします。



Check! ⑤ 表面に苔やカビが生えている

スレート屋根は水捌けが悪くなることで、苔やカビが生えてしまいます。苔やカビが生えた屋根は、さらに水捌けを悪くしてしまい、雨漏りを引き起こすこともあります。色褪せよりも早めに対処しておきましょう。



Check! ⑥ スレートが反っている

スレート屋根の撥水性は徐々に低下していき、水を吸い込みやすくなっていきます。そしてその水が乾く時に、屋根が反ってしまいます。反りは割れを引き起こすことがあるので、定期的にチェックしてください。

上記の症状が出たら屋根補修の目安となります。

 街の屋根やさんの無料点検をご活用下さい!